園での除去食の提供方法。③関係者におけるアレルギー情報の共有方法は。④アナフィラキシーショックを起こした児童にエピペンを使用したことは。⑤今後の取り組みと課題。

答 ①原因物質は、卵、牛乳、小麦、大豆等。②座席を指定、個人トレーで提供。③マニュアル、職員会議、生活指導全体会で共通理解を図る。④21年に1件、保護者が来校し行う。⑤アレルギー疾患対応の要領等で対応。保護者が把握していないと学校での管理が難しい。

佐々木 貴史

福祉政策・介護予防サポーターについて

問 ①市の介護予防の現状と課題は。②この介護予防事業の効果の総括は。③公明党は前橋市の介護予防サポーター事業を視察、「ピンシャン元気に長生きへ」を合言葉に取り組まれているが、非常に参考になった事業であるため、狛江市でも参考にして検討してはどうか。

答 ①参加者の伸び悩みや継続の難しさが課題。②一定のメニューはそろえているが、実施方法等のさらなる検討が必要。③先進的な取り組みとして参考にしていく。

安全・安心なまちづくりについて

問 ①昨年の市内における振り込め詐欺の被害状況は②来年度から安全条例も施行されることから「安心で安全なまちづくりの日」の制定を③いじめ問題は重要な課題であるが近隣自治体では「いじめのないまち宣言」などを制定している。狛江市でもいじめ撲滅の宣言を。

答 ①被害件数は13件、被害額は約6600万円。②推進審議会にて候補日を協議中。③教育委員会の取り組みを市長部局としても全面的に支援していくが、撲滅宣言は今後の検討課題。

石川 和広

市長の平成25年度所信表明について

問 ①昨年の就任初の所信表明との差異は②定員適正化計画における来年度の最大課題は③路上喫煙禁止の条例化再検討を掲げた市長の考えは④市の管理する橋梁の点検結果と修繕計画は承知しているが、災害対策等防災力の面から捉えた橋梁についてはどう考えるか。

答 ①基本的には同じだが、策定中の後期基本計画の趣旨を色濃く投影した。②保育園の民営化と給食調理の委託化。③新たに委員会を立ち上げ、改めて検討を進める。④生活道路、物資搬送等の面からも重要な位置づけと考える。

障がい者の自立、就労支援の取り組みについて

問 ①4月1日からの「障害者優先調達推進法」の施行に伴い、市の果たすべき責務は②調達の推進を図るための方針の作成はどのようになっているのか③調達の目標はどのように定めるのか④市の就労支援の取り組みにおいて今後はどのような展開がなされる予定なのか。

答 ①関連部署と連携し、受注の確保、物品等の需要増進を図っていく。②施設等の現状を踏まえ、調達可能な業務を検討していく。③施設等の意見を踏まえ目標を定めていく。④地域の通いなれた就労場所で障がい者が自立を目指していけるような支援をしていきたい。

正木 きよし

ニトリ狛江ショッピングセンター（岩戸南建設予定）について

問 ①現在までの経過と市の対応について。②調整会へはまちづくり委員会から何名でているか。③都市計画による用途地域の目的外使用に対する市の対応。④市長は調整会委員長と会ったことがあるか。

答 ①開発事業届出書を24年2月提出、3回説明会実施。事前協議申請書を6月提出、事業意見書57通、事業回答書8月提出調整会開催請求提出後調整会9月～25年2月の間で3回実施②委員7名に交通問題専門家1名で対応③解決策を講じていく必要がある④9月に面会。

保育園児の待機児童解消について

問 平成25年度認可保育園申し込み内訳は総数539名で0歳～2歳児393名であり75％を占めている。東京都が待機児童解消のため空き部屋、空き店舗、空き公共施設等を活用し小規模保育（0歳～2歳）事業を予算化したので市も積極的に対応したらどうか。

答 東京都に詳細を確認したうえで検討に入りたい。

太田 久美子

市民が住みよいと思うまちづくりを

問 ①市長が想定している、より暮らしやすくなるまちとは②市民が実感できる住みよいまちとは③何をもって狛江市の財政は硬直しているといえるのか④高止まりしている経常収支比率を改善するための努力は⑤借り入れは多角的に検討し、最善を尽くすべきと思うが。

答 ①市民一人一人が元気で生き生きと暮らすことができるまち②住宅都市として、誰もが生活しやすいまち③借金体質であること④繰上償還による公債費の抑制や公共下水道特別会計繰出金の抑制⑤低利の公的資金借り入れや、交付税算入される借り入れに努めている。

弱者に安心できる生活を

問 ①火災などでの悲惨な事故の市長の所感は②以前にも事故は起きているが、市の安全点検や確認の対応は③入所施設の防火設備の確認や避難方法等を入所者等と、話し合うことも必要だと思うが④生活保護基準額の引き下げにより、市制度に影響がないように。

答 ①あってはならないことと感じている。関係機関と連携しながら防止に向けた取り組みを行っていく。②東京都・狛江消防署と連携。注意喚起を促す文書を通知。③防火設備等の書類確認、施設訪問の際の避難訓練等の確認。④影響が及ばないように努めていく。

辻村 ともこ

青少年のいじめ、犯罪、自殺防止と健全な心育成や夢について

問 ①いじめ防止条例の再度制定を求める。②当市の青少年自殺者数は。（警視庁、文科省）。③当市の青少年犯罪（万引き・恐喝、無免許運転、振り込め詐欺、暴力団関係）数は。④健全な心とは。⑤当市でもオリンピック、ノーベル賞や留学を目指す教育施策の導入を。

答 ①調査研究を行う②保健所によると平成23年中15歳から19歳で1人③調布警察署管内万引き80件、恐喝4件、無免許運転2件、暴力団関係は情報なし④子供たちに求められる資質の総合的なもの⑤子供の優れた点を伸ばし、社会貢献の意識等を育むことで育成。

狛江らしい図書館とは（パート1）

問 ①読書推進計画見直し期間の放置の原因は。②公共施設再編方針見直しで三中移転は。③当市の中央図書館は狭い。狛江らしい図書館像をもっと考えた方がよいが市長の考えは。④蔵書（歴史・領土の分野）、展示（平和フェスタ等）に偏りが見られた。改善を。

答 ①平成20年度終了後見直しができなかった。②新たに策定した公共施設整備計画で現実的な計画としている。③小回りのきくきめ細かいサービスを提供していく中で狛江らしさを。④蔵書や展示内容のバランス等を留意し、ニーズの変化を的確に捉え対応する。

山田 たくじ

市民の「民意」をどのように捉えるべきか

問 ①パブリックコメントや数年に一度の市民意識調査で十分か。②「オープンガバメント」（行政情報提供による課題解決提案制度）を導入すべきではないか。③「討論型世論調査」、「市民討議会」の長所とは何か。④「民意」を酌み取り、生かす上で必要な要素は。

答 ①課題があると考えている。②研究していきたいと考えている。③討論する中での新たな気づきや一定の連帯感が生まれる点。④行政からだけでなく、市民の側の立場からの考察も必要であると考える。

今後の都市計画をどう構想するか（航空計器跡地問題を契機に）

問 航空計器跡地について①用途地域変更はいつ行うのか。②高さ制限、容積率を再検討すべきではないか。③航空計器跡地も含め、全市的な課題として、条例への格上げ等も視野に建替特例（既存不適格の緩和既定）を再考すべきではないか。

答 ①最短でも平成27年度以降。②全市的に検討する。③位置づけも検討は必要。

声の市議会だよりをご利用ください

市議会では、主に視覚障害者の方々を対象として、本紙の内容をCDやカセットテープに録音した「声の市議会だより」を市内朗読ボランティア団体（2団体）と社会福祉協議会のご協力のもとに発行しています。

ご家族やご近所・お知り合いの方々で「声の市議会だより」をご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局までご連絡ください。

【問い合わせ先】 議会事務局議事庶務係（3430）1111内線2341・2342